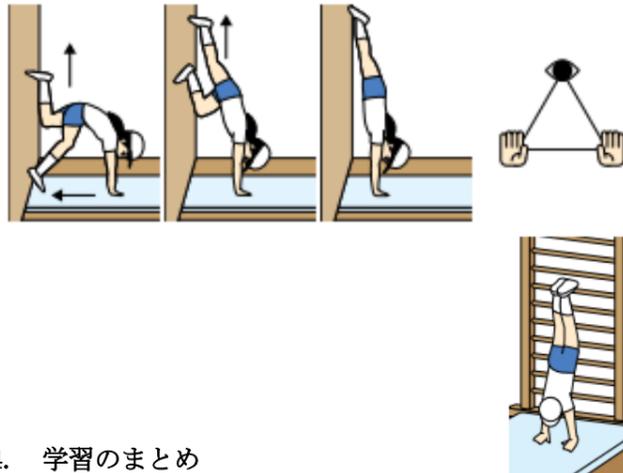


時	1	2	3	4
目標	<p>【知識及び技能】 マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、手や背中で支えての体の保持をして遊ぶことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 マットを使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友だちに伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 マットを使った運動遊びに進んで取り組み、順番やまわりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。</p>			
コア技術	<p>① 両手と頭で三角形を作っている。</p> <p>② 頭に重心を置いている。</p>			
めあて	折り返し運動をしよう。	壁上り逆立ちをしよう。	いろいろな壁上り逆立ちをしよう。	友だちのよいところや、がんばったらよくなることを伝え会おう。
指導内容	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. マット運動への慣れの動き 折り返し運動(4人1組10m程度)</p> <p>① ウマ歩き 腰を高く上げながら、両肩に体重を乗せて前に進む。できるようになったら、進むスピードを速くしたり遅くしたりして進む。</p> <p>② うさぎとび 「手・足・手・足」のリズムで跳ぶ。手で床を押し、膝を胸に着ける。</p> <p>③ かえるとび 足を開いて手を前に出し、「手・足・手・足」のリズムで跳ぶ。足は、手の外側に着く。</p> <p>④ あざらし 肘を伸ばして腕で体を支え、手を交互に動かして前に進む。下肢は、脱力して伸ばしておく。</p> <p>⑤ 前向きクモ 仰向けの姿勢でお尻を上げ、腕と足で体を支えながら進む。</p> <p>⑥ 後ろ向きクモ 手で床を押しながら、手から進む。</p> <p>⑦ カンガルー 手でバランスをとりながら、両足跳びで進む。</p> <p>3. 学習のまとめ</p> <p>4. 振り返り</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. マット運動への慣れの動き 折り返し運動</p> <p>① ウマ歩き ② うさぎとび ③ かえるとび ④ あざらし ⑤ 前向きクモ ⑥ 後ろ向きクモ ⑦ カンガルー</p>  <p>3. 壁上り逆立ち</p> <p>① 壁から80cm程度離れたところに、壁を背にして立つ。</p> <p>② 指を開き、手の平を床にしっかり着ける。</p> <p>③ 肘を突っ張って体を支えながら壁を足の指の付け根で登る。</p> <p>④ 肘に力を入れ、しっかり伸ばす。</p> <p>⑤ 背中やお腹に力を入れ1本の棒のようになる。</p> <p>⑥ 10秒間姿勢を保つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">かかわりあい</p> <p>補助・・・バランスが崩れるときは、両側から腰を支える。</p> <p>声かけ・・・「手を着いて、よじよじよじよじよじのぼり」</p> </div> <p>4. 学習のまとめ</p> <p>5. 振り返り</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. マット運動への慣れの動き</p> <p>① ウマ歩き ② うさぎとび ③ かえるとび ④ あざらし ⑤ 前向きクモ ⑥ 後ろ向きクモ ⑦ カンガルー</p> <p>3. 壁上り逆立ち</p> <p>① 壁から80cm程度離れたところに、壁を背にして立つ。</p> <p>② 指を開き、手の平を床にしっかり着ける。</p> <p>③ 肘を突っ張って体を支えながら壁を足の指の付け根で登る。</p> <p>④ 肘に力を入れ、しっかり伸ばす。</p> <p>⑤ 背中やお腹に力を入れ1本の棒のようになる。</p> <p>⑥ 10秒間姿勢を保つ。</p> <p>4. いろいろな壁上り逆立ち</p> <p>① 手を壁に近づける。</p> <p>② 手を交互に上げて、片手で支える。</p> <p>③ 壁上り逆立ちじゃんけん</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">かかわりあい</p> <p>補助・・・バランスが崩れるときは、両側から腰を支える。</p> <p>声かけ・・・「手を着いて、よじよじよじよじよじのぼり」</p> </div> <p>5. 学習のまとめ</p> <p>6. 振り返り</p>	<p>1. 準備運動(加茂小体操)</p> <p>2. マット運動への慣れの動き</p> <p>① クマ歩き ② うさぎとび ③ かえるとび ④ あざらし ⑤ 前向きクモ ⑥ 後ろ向きクモ ⑦ カンガルー</p> <p>3. いろいろな壁上り逆立ち</p> <p>① 手を壁に近づける。</p> <p>② 手を交互に上げて、片手で支える。</p> <p>③ 壁上り逆立ちじゃんけん</p>  <p>4. 学習のまとめ</p> <p>5. 振り返り</p>
指導上の留意点	手足の出す順番や体の感覚がつかみにくい時は、手足のどこに気を付けたらよいかを指示する。	<ul style="list-style-type: none"> 肘が曲がったり、体が反ったりしないようにする。 最初は、登る高さを低くする。 体が安定しにくい児童には、足を開かせる。 	壁上り逆立ちじゃんけん・・・チーム対抗戦にすると楽しんで取り組める。	
知		①観察		②観察・ICT
思		①観察	③観察	
態	④観察	③観察	②観察	①観察

単元の評価規準

【壁上り逆立ち（マットを使った運動遊び）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 壁上り逆立ちの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。 ② 手や背中で体を支えて、逆立ちをして遊ぶことができる。	① 上手くできたところやできなかったところを、掲示物などの図に目印や色をつけて、自己の能力に適した課題を見付けている。 ② 友だちのよい動きを見付けたり、自分で考えたりしたことを友だちに伝えている。	① 動物の真似をして腕で支えながら移動したり、よじ登り逆立ちをしたりするなどの運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。 ③ 場の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている。 ④ 場の安全に気を付けている。

【単元の評価規準を基にした「十分満足できる姿」】

(1) 知識・技能

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 壁上り逆立ちの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。	・ 壁上り逆立ちの行い方の留意点を友だちや教師に詳しく伝えることができる。
② 手や背中で体を支えて、逆立ちをして遊ぶことができる。	・ いろいろな壁上り逆立ちを行うことができる。

(2) 思考・判断・表現

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 上手くできたところやできなかったところを、掲示物などの図に目印や色をつけて、自己の能力に適した課題を見付けている。	・ 上手くできたところやできなかったところを、掲示物などの図に目印や色をつけたり、シールを貼ったりして、よりよくする行い方を見付けている。
② 友だちのよい動きを見ついたり、自分で考えたりしたことを友だちや教師に伝えている。	・ 友だちのよい動きの特徴を、擬態語や身振りなど多様な表現を用いて具体的に友だちや教師に伝えている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

単元の評価規準	「十分満足できる姿」
① 動物の真似をして腕で支えながら移動したり、よじ登り逆立ちをしたりするなどの運動遊びに進んで取り組もうとしている。	・ いろいろな壁上り逆立ちに進んで取り組もうとしている。
② 順番やきまりを守り誰とでも仲よくマット運動をしようとしている。	・ 自分が楽しむだけでなく、グループの友だちを励ましたり、応援したりしている。
③ 場の準備や片付けを友だちと一緒にしようとしている。	・ 場の準備や片付けを率先して行っている。
④ 場の安全に気を付けている。	・ 自分のことだけでなく、周囲の安全にも気を配っている。